

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年12月17日

計画の名称	新世紀岡崎 浄化循環のみち下水道（重点計画）												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度（2年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	岡崎市												
計画の目標	下水道の持続可能な整備を行い、安全・安心、快適な暮らしの実現及び良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,011	A	1,011	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H30末	H31末
1	下水道処理人口普及率を88.4%（H30）から88.8%（H31）へ増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	88%	89%	89%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 污水）	新設	矢作川処理区（未普及）	污水管φ75～350mm L=15km	岡崎市	■	■				1,011		—
											小計						1,011		
											合計						1,011		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

有識者による評価を実施

事後評価の実施時期

令和2年11月

公表の方法

岡崎市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

効率的な下水道整備により、下水道処理人口普及率の最終目標を達成し、良好な環境を構築することに寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も効率的な整備手法の採用等確実且つ効果的な事業進捗を図ることで、持続的な汚水処理、公衆衛生の向上及び河川等の水質保全に努める。

